

第3回福岡県公立大学法人評価委員会 議事要旨

1 日 時

平成17年11月17日（木） 13:00～15:00

2 場 所

福岡県庁行政棟10階 特1会議室

3 出席者

委員：杉岡委員長、中津井委員、中村委員、新田委員、藤田委員、尾形特別委員

4 議題

中期目標案・中期計画案

5 議事概要

事務局から中期目標案及び中期計画案の修正箇所の説明の後、各委員による意見交換が行われた。

委員からの主な意見は次のとおり。

〈九州歯科大学中期計画に関する意見〉

○前文に、ヘルスプロモーションについて書いているので、最初の文「近年、国民の健康管理について医学・歯学の研究成果が蓄積され…」の部分に「健康増進」を加えたらどうか。

○公立の歯科大であることを踏まえると、一般的なヘルスプロモーションも大事だが、福岡県の地域に着目しているという観点を工夫したらどうか。

〈福岡女子大学中期計画に関する意見〉

○国から地方への時代であり、需要（学生や地域のニーズ）と供給（近隣の大学の状況）のバランスを考え、福岡県が発展するために必要な人材を福岡県の公的資金を使って育成するということが必要である。

○TOEIC 取得点数の目標値がかなり高いが、これは生半可なことではなく、相当な体制をとってやらなければならない。語学を中心に据えるなら他の授業にも影響する。大学はそこを十分覚悟をして考えて欲しい。

○語学教育を本当にやろうと思ったら、大学で学習教材を作り、全員の先生が集まって共同作業をるところまでやったら効果がある。また、講義や卒論は英語でやるとか、日本人教師も英語で授業をやるくらいでないといけない。

○評価指標「学生の成績」の達成目標は全部 B 以上となっているが、まず、成績の基準の議論から行わなければならない。どう厳格に評価するか、成績をどう分布させるか、同じ科目を複数の教員が担当する場合は講義のレベルを揃えるといったことが分かった上

で、達成度を評価しなければならない。中期計画ではその点が見えないが、大学はきちんと理解しているのか。

- ボランティアなど今まで実施していないことをあげているが、中期計画の細かいところまで読み込むと達成するのがとても大変だという感じがする。中期計画に書く限り、何をやったのかが問われる。
- 教員が学生に対して、学習したことが自分の将来にどう役に立つかをいかに早く植え付けるかにより学習の姿勢が変わる。その仕組みをどうやって作るかが課題である。

〈福岡県立大学中期計画に関する意見〉

- 歯科大にも共通のことだが、看護職や歯科医師など有資格者の育成の場合、学生のニーズだけでなく社会的ニーズを押さえる必要がある。